



北海道東川高等学校

HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL GUIDE BOOK

2018 学校案内



自分の力で夢をつかみ取ろう!

～東川高校は全力でサポートします～



CONTENTS

HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL

メッセージ	2
校訓、校章、制服、沿革	3
学習と資格	4
英語教育と国際教育	6
海外留学	8
学校行事・生徒会行事	9
部活動	10
東川町からの支援	12
卒業後の進路、卒業生の声	13



校舎外観

輝け！君の青春

今、必要とされている「人間力」。
その力を引き出し、大きく飛躍するための学ぶ姿勢を育てます。

本校は「美風慣行・自律創造」の校訓を掲げ、良い習慣の実践と積極的な発想・行動ができる生徒の育成を目指しています。1学年2クラスという小規模校ならではのきめ細かな指導により、生徒たちは自分の可能性の伸長に向けて意欲ある学校生活を送っています。進学・就職とも進路希望の100%実現という数字が、本校の充実した教育活動の成果だと考えています。

また、東川町の支援を受けての海外派遣や国際交流事業、各種資格検定・介護職関係の講習なども、本校の大きな特色となっています。世界にも視野を広げ、確実な自己実現を後押しする学校、そんな本校であなたの青春を輝かせましょう。

東川高校では、大雪山国立公園・旭岳スキー場という恵まれた環境を生かし、クロスカンントリー選手の育成への取り組みを始めます。毎年、全日本代表選手が合宿を行う東川町から、高校生アスリートの活躍が期待されます。

校訓

美風慣行 自律創造

昭和59年7月24日制定

- 1 良い気風、良い慣わし（美風）を実践し、生活そのもの（慣行）とする。
- 2 自分でやり抜く（自律）気がまえを持ち、新しい発想、豊かな創造力で、社会に貢献する人間となる。

校章



昭和26年6月8日、公募作品の中から制定。東川町の基幹産業でもある「米」という字の上に「東川」の字をあしらい、さらにその上に「高等学校」の「高」を表したものです。

東川高校は、東川町及び周辺町村の発展を担う青少年のための教育機関として開校し、現在に至っています。本校の校章は、「お米」と「教育」と周辺町村の「発展」を象徴するものとなっています。

制服

夏服
Summer



冬服
Winter

沿革

昭和24年2月	北海道立永山農業高等学校東川分校として開校
昭和26年4月	北海道東川高等学校独立設置認可
昭和33年4月	普通科設置認可
昭和50年4月	全日制課程2学級設置
平成11年9月	ホームヘルパー3級講座開始
平成15年9月	インターンシップ開始
平成16年～19年	日韓国際交流事業参加
平成20年7月	ホームヘルパー2級講座開始
平成20年11月	創立60周年記念式典挙行
平成21年8月	居宅介護従業者講座開始
平成24年9月	東川町派遣ラトビア語学研修開始（2名参加）
平成25年8月	全身性障害者移動介護従業者養成研修開始
平成26年4月	介護職員初任者研修講座開始
平成27年9月	東川町派遣台湾・カナダ語学研修開始（各2名参加）

英語教育と国際教育

東川高校では英語教育への取組に力を入れています。

これからの時代には、生きた英語力を身につけることで活躍する場が大きく広がります。

本校で語学力を磨き、大きな世界へと飛躍をしてください。



英語を聞くこと、話すことで
皆さんの世界を広げて欲しい。

東川町教育委員会所属の英語指導助手 (ALT) が
常駐しています。英語の授業の他にも行事、英語の検
定の指導にも携わっています。

東川高校は、文部科学省指定「研究開発学校」(国際教育 Globe) の指定を受けています。

東川高校の英語教育

これからの時代は急速に AI (人工知能) 化が進み、多くの仕事が AI に取って代わられると言われています。そんな時代だからこそ、「人間力」が求められます。世界の人と向き合うことで、人間としての力を高めていくことができるのです。

他国の事を知り、お互いに理解し合うための手段として共通の言語が必要となります。東川高校は、英語教育に力を入れて取り組んでいます。

国際教育 Globe (文部科学省指定研究開発学校)

東川町は、幼稚園から高校までの一体的な教育プログラムの中で「日本や地域文化理解」と「多様な文化理解」、「英語力」の向上を目指します。本校では、中学校までの国際教育を一層発展させ、世界に目を向け、広い社会で活躍できる生徒の育成に取り組んでいます。

Globe の概要

01

東川町立幼稚園
人とのかかわり
外国語に慣れ親しむ

02

東川町立4小学校
コミュニケーション能力の素地の育成
初歩的な英語の運用能力の育成
外国語活動、英語科のカリキュラム編成

03

東川中学校
コミュニケーション能力の基礎の育成
初歩的な英語の運用能力の育成
外国語活動、英語科のカリキュラム編成

04

東川高等学校
コミュニケーション能力の育成
地域におけるネイティブスピーカーの有効利用により、
人と人との相互理解・相互交流を基本とした活動

05

国際社会で
活躍する人材

異文化理解

東川町には、1年を通して、様々な国々から留学生が訪れます。授業・生徒会・委員会などを通し、留学生との交流が盛んに行われています。また、東川高校は、台湾・高雄市「樹人医護管理専科学校」と学術・教育の発展・文化の交流及び親善を図る目的で提携を結んでいます。

さらに、世界13ヶ国の高校生と写真フェスティバルを通して交流しています。



2



4



1



3

留学生との交流

- 1. ラトビア 2. 台湾 3. フィンランド
- ※他にもベトナム、タイの高校生とも交流しております。
- 4. 高校生国際交流写真フェスティバル

海外留学

東川高校では毎年、多くの生徒が海外短期留学を体験しています。

海外での生活で語学力を伸ばすのはもちろんのこと、異文化に触れ、さらに日本の文化を紹介することで交流を深めます。

東川町からの支援もあり、意欲のある生徒のサポートも充実しています。



在校生 樋口 莉那 平成28年度にカナダへ短期留学

私は約3週間、カナダに留学させていただきました。留学前には事前研修をしていたので、留学時にとても役に立ちました。

9月2日にカナダのキャンモア町に着き、現地では3連休だったこともあって観光をさせてもらいました。グラスノーレイクやタタカフォールズをはじめとする湖や滝、氷河を見に行きましたが、どの場所もきれいで迫力がありました。

学校では、社会、料理、英語、そしてドラマの授業を選択しました。授業時間は90分と聞いて長いのかと思っていたのですが、体を動かすことが多かったので意外に短く感じました。日本の授業との大きな違いは、生徒同士が活発に交流しているところでした。他の生徒さんとコミュニケーションを取る機会が多く、おかげでみんなと仲良くなれたと思います。

ホストファミリーにはとてもお世話になりました。初めは会話を聞き取れず大変でしたが、時間がたつにつれ、たくさんコミュニケーションを取ることができるようになりました。

今回の留学の際に受けたご恩を忘れず、学んだことを今後の生活に生かしていきます。

在校生 照井 朋華 平成28年度にラトビアへ短期留学

3週間のルーイエナ高校生との交流、ラトビアの文化交流、そしてホストファミリーとの活動はとてもいい経験になりました。

現地高校生の最初の印象は「美人が多い」です。外見だけでなく、皆本当に優しく、親切だったので、なおさらそう思ったのかもしれません。ルーイエナ高校の授業は日本と違い、1時限が30分くらいで最初は戸惑いました。1日にたくさん授業を受けられて楽しそうな反面、大変そうだなとも思いました。

ルーイエナ町はベリーとアイスクリームが有名で、本当においしかったです。さらにこの町は芸術の町ともいわれており、ルーイエナ出身の歌手や芸術家がたくさんいるそうです。

私がお世話になったホストファミリーは6人家族で、とても賑やかで温かな家庭でした。エストニアや古いお城の跡などに連れて行ってくれました。とても親切にしてくださり、帰るときは本当に離れがたかったです。

留学を通して感謝をする気持ちが強まり、色々なことに目を向けられるようになりました。今後の生活にもこのことを生かしていこうと思います。



在校生 中屋 彩華 平成28年度に台湾へ短期留学

私は去年留学した先輩の話を聞いて興味を持ち、台湾への留学に応募しました。海外は初めてだったので、たくさんのことを学ぶことができました。

事前研修で中国語や台湾の習慣を学んでから、台湾高雄市にある樹人医護管理専科学校に通いました。そこでは私たちが日本語を教えたり、日本語で会話をしたりする授業がありました。工夫を重ね、積極的に話すことで相手も理解してたくさん話をすることができました。

日本での違いで驚いたことは、メイク、ピアス、染髪、授業中の飲食が認められていて、さらに驚いたのは、学校から家が遠い生徒が、学校近くに家を借りているということでした。また、放課後のクリスマスライブでは芸能人が来たりもして、ものすごく盛り上がりました。

ホームステイではホストファミリーと歴史的な建物を見たり、繁華街や夜市などへ連れて行ってもらったりと、様々な体験をさせてくれました。

台湾の方々、皆さん本当に優しくかったです。機会があればまた行きたいですし、もっと他の国のことも知りたくなりました。



学校行事・生徒会行事

東川高校では一年を通じて学校行事や生徒会行事が活発に行われています。



1. 宿泊研修
2. スポーツフェスティバル
3. 学校祭
4. ハーフマラソン大会
5. 見学旅行
6. 球技大会
7. カルタ大会
8. スキー授業

部活動

部活動は高校生活をより充実させ、仲間とともに自己を磨く絶好のチャンスです。

吹奏楽部は、平成27年に同好会としてスタートした新しい部活動です。発足時の楽器購入は東川町の支援です。多くの人に素晴らしい演奏を届けることを目標に日々練習に励んでいます。平成29年のコンクール地区大会では念願の金賞を獲得しました。美術部は講師の指導の下、油絵やアクリル絵の具を使って作品制作し、高文連へ出品しています。茶道部は、作法を通して相手を思いやる心を養っています。学校祭ではお茶会を開いています。写真部は、「未来や夢、希望を感じさせる写真」を目標に生徒一人ひとりの感性を大切に活動しています。ボランティア部は、東川養護学校との交流や、社会福祉団体主催行事への参加が主な活動です。

クロスカントリースキー同好会は、キャンモアスキー場・旭岳スキー場等の恵まれた環境を活かし、平成29年に発足しました。これからの活躍が期待されています。その他にも、ソフトテニス部・バドミントン部・野球部・水泳部・女子バスケットボール同好会があり、高体連・高野連等の大会に向け日々練習に励んでいます。



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11

1.吹奏楽部 2.美術部 3.茶道部 4.写真部 5.ボランティア部

6.クロスカントリースキー同好会 7.ソフトテニス部 8.バドミントン部 9.野球部 10.水泳部 11.女子バスケットボール同好会

多方面にわたる東川町からの応援	輝け！君の青春
安心して学ぶ環境が拡大	HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL

東川町からの支援

東川高校は、全道でも数少ない人口増加を続ける東川町と緊密に連携しています。

東川町からは生徒に対してさまざまな支援があり、他にはない条件で学習に専念することができます。

こうした支援を積極的に利用することで、明確な目標をもって自身の進路実現に向けて取り組むことができます。

平成30年度 東川高校への教育支援内容

福祉教育の一層の充実を支援

- 1年生全員で取り組む「全身性障害者移動介護従業者養成研修（通称：ガイドヘルパー）」**講座テキスト代の補助（一人あたり約2,600円）**
講師料無料（講師のボランティア）
- ガイドヘルパー取得後、希望する生徒が受講する「介護職員初任者研修講座」**受講料の全額補助（一人あたり約86,000円）**

各種検定受験料の半額補助

- 進学・就職に有利となる商業科目・英語検定・漢字検定等、**東川高校で受験を奨励している検定の受験料半額を補助**します。

一人ひとりの進路のための支援・補助

- 東川高校内での夏期・冬期講習・放課後講習の実施の支援
- 外部予備校等の夏期・冬期講習などの**短期講座参加者の受講料半額補助**
- 大学短大・看護・公務員受験に向けた**模擬試験代の半額補助**

旭川福祉専門学校特待生枠の充実

- 介護福祉科・医薬福祉学科・こども学科の3学科合わせた特待生枠（受験料・授業料**全額免除5名・半額免除5名**）の創設。
- 旭川福祉専門学校では卒業と同時に**介護福祉士・幼稚園教諭・保育士の取得ができます。**

英語教育の充実

- 東川町教育委員会より**英語ALTを高校の専任として配置**、本校英語教諭とチームティーチングの授業を実施しています。

ラトビア・カナダ・台湾への短期留学の実施（カナダへの留学は未定）

- 東欧の**ラトビア**・北米の**カナダ**・東アジアの**台湾の3ヶ国に希望する生徒から各2名、約3週間を町費で派遣**します。

eラーニングのための設備の充実

- 千歳科学技術大学と本校を**インターネットで結ぶeラーニング**（パソコンを使った個別学習）の環境が整っています。

吹奏楽の活動支援

- 平成28年度に部に昇格した**吹奏楽部の活動費の補助**を行います。（H27年に35人編成規模の楽器導入）

運転免許取得費用の支援

- 自動車運転免許の教習料金が200,000円に。**（北工学園モータースクールにて実施）

北海道の最高峰・大雪山国立公園旭岳の裾野に広がり、発展を続ける東川町

東川町は、全国的に多くの市町村で人口が減少するなか、人口増加を着実に進める町です。全国的に有名になった「写真甲子園」は、全国からの初戦応募が500校を超える年が続き、高校生カメラマン憧れの舞台としてマンガや映画などにも取り上げられています。写真をテーマにした町の発展は、今後も多角的なものへとなることでしょう。

さらに日本語留学やスポーツを通じて各国の若者を招き、積極的に交流をすすめています。大雪山旭岳の優れた雪質を活かしたクロスカントリー競技選手の育成、そして世界各国の若者との異文化交流の促進は、高校生の皆さんにとって大きな刺激となることでしょう。

こうした町の発展の礎となっているのが、大雪山国立公園です。その雄大な自然の恵みは清流となって裾野を肥沃な土壌へと変え、地場産業である農業を支えています。東川町産のお米が高い評価を獲得しています。また、旭岳、天人峡地区は、温泉リゾート地としても高い評価を得ています。



学ぶ、働く、多様な進路	輝け！君の青春
ひろがる卒業後の活躍の場	HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL

卒業後の進路

主な進学先

国立大学 室蘭工業大学

私立大学 北海道学園大学、札幌国際大学、札幌大学、北海道情報大学、旭川大学、天理大学、北海道千歳リハビリテーション大学、同朋大学

短期大学 北海道武蔵女子短期大学、國學院大學北海道短期大学部、旭川大学短期大学部、拓殖大学北海道短期大学、淑徳大学短期大学部、北翔大学短期大学部、札幌国際大学短期大学部

専門学校 旭川福祉専門学校、旭川調理師専門学校、旭川理容美容専門学校、旭川大学情報ビジネス専門学校、旭川医療情報専門学校、旭川歯科学院専門学校、旭川市医師会看護専門学校、旭川高等技術専門学校、北都保健福祉専門学校、大原法律公務員専門学校、経専音楽放送芸術専門学校、経専北海道保育専門学校、札幌放送芸術専門学校、日本福祉リハビリテーション専門学校、札幌プライダル専門学校、北海道理容美容専門学校、札幌こども専門学校、札幌スポーツ & メディカル専門学校、エス・ワン動物専門学校、光塩学園調理製菓専門学校、札幌スクールオブミュージック & ダンス専門学校、北海道医学技術専門学校、北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道歯科技術専門学校、小田原高等看護専門学校

主な就職先

北海道警察、旭川市消防、自衛隊、東芝ホクト電子株式会社、ワカサリゾート株式会社、株式会社壺屋総本店、男山株式会社、株式会社松嶋、日本メディカルプロダクツ株式会社、びえいフーズ株式会社、旭川中央青果株式会社、株式会社フレアサービス、株式会社北海道健誠社、株式会社サカイ引越センター、株式会社ベルーナユニテッド、株式会社社長尾部品、有限会社北海道システム通信、豊岡中央病院、株式会社ハスコムモバイル、株式会社北海道産地直送センター、株式会社旭川グランドホテル、株式会社中央薬局、有限会社ドリームプラン、生活協同組合コープさっぽろ、株式会社セノ道央営業所、株式会社ホンタベルノ旭川、株式会社和田商、極東警備保障、大建土木株式会社、イオン北海道株式会社、カラカミ観光株式会社、株式会社プリンスホテル、株式会社柿沼、株式会社オフィスプライム、株式会社カワムラ、株式会社カンディハウス、日本通信サポート有限会社、富士産業株式会社、有限会社オフィスモリヤマ、ワタキューセイモア株式会社、新栄コンサルタント株式会社

指定校推薦枠

道内大学 旭川大学、札幌大学、札幌学院大学、札幌国際大学、千歳科学技術大学、北翔大学、北海道科学大学、星槎道都大学、北海道情報大学

道内短大 北海道武蔵女子短期大学、旭川大学短期大学部、拓殖大学北海道短期大学、國學院大學北海道短期大学部、北翔大学短期大学部、札幌国際大学短期大学部、函館大谷短期大学、札幌大学女子短期大学部、北星学園短期大学部、北海道科学大学短期大学部

道内専門学校 旭川福祉専門学校、旭川歯科学院専門学校、旭川大学情報ビジネス専門学校ほか

卒業生の声

室蘭工業大学 応用理化学系学科 合格 平成29年3月卒業 山田 翔太

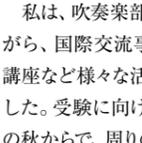


私は1年生の時から、大学への進学を目標に毎日勉強をしていました。特に化学や生物に関心を持ち、将来は得意な教科を生かして、社会に貢献できる人材になりたいと思っています。

高校生活ではボランティア部に所属しており、養護学校などを積極的に訪問し、みんなと関わりながら活動を行いました。とても貴重な体験ができました。また在学中は、福祉の資格を取得することはもちろん、たくさん資格習得を心がけていました。定期テストではよい点を取れるように毎日遅くまで勉強もしました。

今は、室蘭工業大学の応用理化学系学科で基本的な数学や化学、物理学を学んでいます。将来は製薬会社への就職を目標に毎日勉強しています。

旭川大学 看護学部 合格 平成29年3月卒業 藤川 奈々



私は、吹奏楽部・ボランティア部に所属しながら、国際交流事業や介護職員初任者研修講座など様々な活動に積極的に参加していました。受験に向けての準備を始めたのは3年の秋からで、周りの人と比べると非常に遅いスタートでした。しかし、国語の先生に個別に小論文の指導をして頂きました。小論文を書き提出し、添削してもらい、また書くを繰り返しました。先生には、とても感謝しています。面接の場面でも、部活動や国際交流事業での経験から自信を持って話すことが出来ました。また、看護師を目指して勉強している中で、介護職員初任者研修講座で学んだ知識がとても役立っています。

私は、東川高校に入学し充実した高校生活と夢をつかみ取りました。



旭川福祉専門学校 こども学科 合格 平成29年3月卒業 村岡 未空



私の高校生活は、友達と楽しく学校行事などを過ごしてきました。また自分の進路実現のために授業やテスト勉強も頑張り、目標を持って過ごせた高校生活でした。部活動では放課後遅くまで練習家に帰ってから少しでも勉強を続けてきました。また、友達と学校に残りお互いに教えあひながら勉強していました。

進路先については学費などのこともあり、とても悩みいつも考えていました。今通っている学校はとても楽しく、授業も楽しくこの学校を選んでよかったと思っています。資格をとって夢実現に向けて頑張っ勉強しています。今、進路で悩んだりしている人は、自分が本当にしたいことを理解し、そのためには今何を頑張ればいいのかを知る事が大切だと思います。諦めず自分の夢に向かって進路を実現して欲しいです。頑張ってください。



北海道東川高等学校

〒071-1426 北海道上川郡東川町北町2丁目12番1号
 TEL.0166-82-2534・2590 FAX.0166-82-2534
<http://www.higashikawa.hokkaido-c.ed.jp>

バス路線略図～旭川電気軌道（所要時間は目安です）

